

「春花秋実」

校長通信5号 長田 芳子

師走です。今年も残りわずかとなりました。4月からですが、お世話になりました。ありがとうございます。さて、町はイルミネーションに彩られ、ウキウキした気持ちの人も多いと思います。クリスマスの計画はいかがでしょう？家族でケーキを囲みキリストの生誕をお祝いするのでしょうか？年越しにはお寺に赴き除夜の鐘を打ち、年始には神社で手を合わせ一年の幸せを願ひし、何か変だと思いながら日本って幸せな国だと感じています。

今年は戦後70年の節目でしたので、様々なマスメディアで特集企画がされ、平和を意識する事が多く、命の尊さを改めて考え、感じた一年でもありました。来年は申年です。「見ざる、聞かざる、言わざる」にならないよう色んな事に興味、関心を持ち、積極的に取り組みたいものです。

☆ 蓼科学<立科探検隊テーマ>

A班 議員の仕事について

B班 りんごジュース

C班 芦田城と芦田信蕃

D班 五無斎保科百助先生

E班 味噌づくりについて

F班 りんご農家の仕事

G班 立科町の林檎の秘訣

H班 津金寺

I班 立科町の特産物について

J班 立科町のため池について

☆ 高大連携 蓼科学「立科探検隊」発表会 開催

長野大学・企業情報学部の前川道博教授による蓼科学「地元から地域を学ぶ」発表会を11月24日（火）5・6時間目に開催しました。2年生の地域貢献、地域創造コースの50名の生徒の発表です。全8回の講座の最終回です。1回目は前川先生から地域の魅力についての講義を頂き、その後、A班からJ班までの10班に分かれてテーマを決め、訪問先を選び、下調べをし、探検隊でフィールドワークし、振り返り・まとめをし、最終回の発表会を迎えました。地元、立科町の人、企業、農家さんに実際訪問し、お話を聞きし質問しメモを取り、写真やビデオに残して発表までに仕上げました。地域の方や取材に応じて下さった方々も参加下さり、緊張する場面も多かったと思いますが、生徒の言葉でわかったこと、感じたことなど思いを伝える事ができました。前川先生、NPO法人の安江高亮さん、町づくり協議会の吉澤隆一さんをはじめご協力頂きました立科町の皆様に感謝と御礼申し上げます。

♪ 「多来福祭」・「人権を考える町民大会」に参加して ♪

立科町「多来福祭」11月7/8日



立科町商工祭「多来福（たらふく）祭」が開催され、参加させて頂きました。テープカットでは、立科町のキャラクターの「しいなちゃん」（中央）、大河ドラマで今注目の「ゆきたん」（左）なども参加していました。本校ジャズ部の発表もあり、あいにくの雨でしたが、多くの観客の方がテントの中や、傘を差してスイングしながら聞いて下さいました。寒い中、ありがとうございました。12月5日（土）は人権講演会に参加し、奈良県光明寺女性住職であるシンガーソングライター・作家の三浦明利^{あかり}さんの講演を聞きました。自分を振り返るような心に残るお話と透き通る歌声に魅了されつつ、充実した研修ができました。